

令和5年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	庄原市立庄原中学校	校長	東 直美	生徒指導主事	中山 貴太
取組事例名	『ありがとうカード』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
<ul style="list-style-type: none"> <li>感謝の想いを表現し共有することで、尊い命や安全な生活を守り、安心できる学校、学級づくりにつなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立心と感謝の心を持ち、協働して社会に貢献する生徒</li> <li>お互いを認め、支えあうことのできる生徒</li> </ul>



2 展開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
<p>① 本校では毎月20日を「Every Life Day」としHRの時間を使用して、「命について考える機会」を設けている。その時間を使って生徒会で活動できることはいかを話し合い、生徒の感謝の想いを込めたメッセージカードの作成、掲示及び生徒朝会での発表をすることを決定した。</p> <p>② 生徒会（保健委員会）が主となってメッセージカードのイメージ図や完成までのスケジュールを決定した。</p> <p>③ 各クラスのHRの時間で保健委員がメッセージカードの目的や作成の日程等について周知し、ハート形のメッセージカードを配付した。</p> <p>④ 一人一人が作成したメッセージカードを集め、保健委員会で、全体のレイアウトを工夫し、四葉のクローバーになるように掲示した。</p> <p>⑤ 保健委員会でメッセージカードの内容を確認し、各クラスで紹介したいメッセージを一点選んだ。</p> <p>⑥ 学活の時間に、各教室とオンラインでつなぎ、全校生徒に対してパワーポイントを用いて紹介した。</p>	<p>生徒にめあてをもたせるために</p> <p>毎月20日の活動の中で全校生徒に命や感謝について考える機会がある。また、主となる保健委員会が活動の目的を理解し、各クラスのHRの中で取組について分かりやすく説明できるように練習をした。</p> <p>生徒の意欲を高めるために</p> <p>ありがとうカードの形や掲示の方法、全体への共有の仕方を工夫した。</p> <p>生徒の頑張りを認め、価値付けるために</p> <p>ありがとうカードを、学活の授業で全校生徒にパワーポイントを用いて紹介し、感謝の思いを共有した。また、生徒が書いたありがとうカードを生徒玄関に掲示するとともに、生徒指導通信でいくつか紹介し、感謝の気持ちをもつことの大切さや周囲の人に支えられて今の自分がいることについて価値付けていった。</p>



3 成果と課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月20日の「命について考える機会」に、生徒がより主体的に参加することができた。また新鮮な気持ちで命について考え、仲間のことを大切に、絆づくりのきっかけとすることができた。</li> <li>●本取組は今年度2回目であるが、定期的実施できるように取組の改善を図りたい。</li> </ul>